

# 学生相談室だより

2011 年 第 2 号 (通算 第 26 号) 2011 年 11 月 発行 : 京都橘大学 学生相談室

昨年の秋は台風で学祭が流れてしまい残念でしたが、今年は、雨と予報されていたにもかかわらずお天気がもち、得した気分でした。そうこうしている間に11月になり、早いところではクリスマスの飾り付けを目にすることもあります。というわけでこちらも少し早いのですが、今年を振り返りながら、二人のカウンセラーが2011年度「学生相談室だより」第2号をお届けいたします。

## 買い物は好きですか？

大学という場で仕事をしている関係から、私は普通より20歳前後の人々と出会う機会が多い人間です。大学の全学生と直接交流する機会があるわけではありませんが、スクールバスの中で、購買の列を待つ時、その他あらゆる所で「今の大学生生活って、こんなふうなんだな」と気づかされる機会があります。

私がこの大学で学生相談を始めた1995年頃は、すでに日本でバブル景気といわれる時代は終わり、就職活動も厳しい時代でした。それでもブランドのスーツを見にまとった学生やブランドのバッグをもった学生をキャンパスで見かけることもまれではありませんでした。ところが、その後、知らない間にブランドものをキャンパスで見かけることが少なくなったなあと感じていました。

日本が経済不況の時代になったからだと思っていましたが、あるとき「嫌消費世代」という言葉を知り、少し違う視点から考えるようになりました。ちょうど私自身が以前より物を買うことに慎重になってきていたこともあり、この「嫌消費世代」という言葉に関心を持ち何冊か本を読みました。その結果、現代の若い世代が消費にクールなのは不景気のためだけではなく心理的な理由があり、この先、収入が増えてもこの世代の基本的ライフスタイルは変わらないだろうという結論に納得しました。また、この世代はけっしてけちなわけではなく、人間関係を大切にし、小さな贈り物の交換などはまめにするそうです。こういったライフスタイルは経済界にとっては手ごわい相手のようなのですが、私はなかなか学ぶところがあると思いました。

「嫌消費世代」についての本を読んだ人が [Amazon.co.jp](http://Amazon.co.jp) に投稿したレビューを二つ紹介します。

1) ・ ・ 私自身の考えは、むしろ「消費世代」が、この本でいう若い「嫌消費世

代」を見習わなければならないと思う。環境にやさしいサステイナブルな社会を築いていくには、彼らの感覚・価値観こそがマッチする。（By ファイアーマン）

2)・・・彼らは今、消費や金銭に依存しない新しい幸福を見つけるため、試行錯誤を繰り返しているように見える。ネット上の無償の作品公開を通じた自己実現など、その最たる例だろう。・・・（By t）

振り返れば、私はいらぬものを買った思い出がけっこうあります。その多くはそれほど高価なものではなかったものの、明らかに、後から考えればいらぬものでした。多くの場合、私がそのような買い物をしたのは幾分精神的に不安定なときでした。自分のみじめな気持ちを慰めるためであったり、気持ちをリセットするためであったりしました。どちらにしても、その商品自体が必要であったわけではなかったのです。買うことは何かを満たされたいための代償行為でした。

生きていくためにお金は大切なものです。また、思い通りにならない時に代償行為でその場の心を慰めることが必要なときもあります。しかし、どんな代償行為のバリエーションを持っているかによって、つまりどんな生き方をするかによって消費生活は随分変わります。「嫌消費世代」という言葉は、「私はどうしてあの時こんなもの買ったんだろう??」と後で思うような消費はしたくないとあらためて考えさせてくれるきっかけになりました。（文責 北尾敬子）



「仮面ライダー生誕40周年」と言われてもピンとこず、私はどちらかと言えばウルトラマンの方が親近感があり、昔カネゴンの絵を描いて部屋に貼っていました。何のことやら?と思われそうですね。変身モノはいつの時代もすたれることなく子ども達には大人気です。仕事上小さな子どものセラピーに携わることもあり、最近仮面ライダーに詳しい子どもとの関わりから、どうしてもついていけなくて困ることになり、TVで録画して見るうちに仮面ライダーにハマりかけてしまいました。

40年前の初代「仮面ライダー」は、大学の生化学研究所に所属するIQ600の天才で、スポーツ万能、一流のオートレーサーでもある本郷猛が、悪の組織ショッカーに拉致され、幹部候補生として改造手術を施され、脳改造寸前に緑川博士の助けで脱出に成功し、正義と人類の自由を守るためにショッカーと戦うというストーリーでした。そう、「正義」と「悪」が戦い、最後は「正義」が勝つ!必ず「正義」が勝つというストーリー展開。すごくわかりやすい。だって子ども番組ですから～。

しかし、今や必ずしも正義が勝つとは限らない時代。??いや、そうでもな

いだろうが、21世紀に入った頃から、仮面ライダーのストーリーも変わってきたようです。主役のライダー以外に、それに準ずる存在のライダーが複数登場して共闘したり、仲違いしたり、悪役として登場したりし始める。

子どもに「ファイナルベント！」と言われる度に（最後のお弁当??何のこっちゃ?闘ってる最中やのに）と、とんちんかんなことを思っていました。あまりにも毎回出てくる台詞のため調べてみました。そして、それが平成仮面ライダー第3作目『仮面ライダー龍騎』の中で出てくる“必殺技”のことだとわかりました。ちなみに龍騎のファイナルベントは、炎をまとってキックするドラゴンライダーキックです。それを最後のお弁当だなんて思ってたらずく話の筋がガクッです。しかし、私が最も関心をもったのは『仮面ライダー龍騎』の複雑に思えるストーリーです。

すでにこの世にはいない妹の優衣が作り出したミラーワールドから現実世界へと妹を救い出すために、兄の士郎は仮面ライダーになることができるカードデッキを作り出した。それを手にした者は希望が叶えられるが、そのためには鏡の中の世界「ミラーワールド」から人を襲うモンスターと契約をし、他のライダー達と戦って最後まで生き残らなければならない。カードデッキの数は13。そして、さまざまな願いを秘めたライダー同士の戦いが激化し混迷を深めていく・・・最後に生き残った者は誰なのか?士郎は優衣に新しい命を与えることができたのか?結末はいかに・・・

こうまとめてしまえば単純なストーリーに思えるが、味方になりながらも最後は戦ったり、契約したモンスターの餌食になったり、しかしモンスターから人々を守るために契約してライダーになったりと、やはり複雑かもしれない。また、鏡像の世界と現実の世界、鏡の向こうに棲む分身とこちらにいる人間との会話、閉ざされた時間軸、このストーリーに子どもが付いて行くことに驚く。もし、私が小学生でこの番組を見ても付いていけなかつたらう。

しかし、「正義」VS「悪」がはっきりしていて、その二つが戦い正義が必ず勝つという単純なストーリーだけではおもしろくない、あるいは現実味がないと今の子ども達は思うのかもしれない。実際、今の子どもの世界は大人が思っている以上に、少なくとも自分達が子どもだった頃よりも複雑なようなので。そうした複雑な現実とこういうストーリーはずっと付いていける子どもには入っていくのだろう。まるで憑いていってるように。そして、「仮面ライダー」のストーリーとは別の、自分の置かれている現実世界のストーリーとどこかでリンクさせながらも、実は自分が生きていくストーリーを作り出していくのかもしれない。よくわからない仮面ライダーのお話でした。ひょっとして、龍騎を見ていた世代の方達かしら?龍騎のあらすじの解説お待ちいたします。私は、新しく始まったフォーゼの方が単純で楽しめそうですが。「宇宙キター！」（文責 河井直美）

## 学生相談室開室曜日および開室時間

月曜日	9 : 00 ~ 16 : 10	河井先生
火曜日	9 : 00 ~ 16 : 10	河井先生
水曜日	9 : 00 ~ 16 : 10	北尾先生
木曜日	9 : 00 ~ 16 : 10	河井先生
金曜日	9 : 00 ~ 16 : 10	北尾先生

## 個別面接時間

月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ① 9 : 00 ~ 9 : 40   | ⑤ 13 : 00 ~ 13 : 40 |
| ② 9 : 50 ~ 10 : 30  | ⑥ 13 : 50 ~ 14 : 30 |
| ③ 10 : 40 ~ 11 : 20 | ⑦ 14 : 40 ~ 15 : 20 |
| ④ 11 : 30 ~ 12 : 10 | ⑧ 15 : 30 ~ 16 : 10 |

★個別面接については、予約が基本となります。

「学生相談申込票」で申し込み、「約束カード」で相談日時を確認して相談を受けてください。

★予約当日は、直接来室してください。カウンセラーが対応します。

★昼休み時間は、コミュニケーションスペースで自由な相談ができます。

★夏期および春期の長期休暇中は、原則として週2回の開設となります。

長期期間中は、

医務室（075-574-4119）または

学生支援課学生センター（075-574-4114）

までご連絡ください。